

草原に人が関わるしくみをつづけること。



火の国阿蘇の  
恵みのブランド

# 自然 Aso City

グリーンストックとは「緑の生命資産」。

阿蘇の広大な緑の大地というかけがえない財産を、

都市と農村、企業と行政の四者の連携によって後世に残していく。

それが、熊本大学佐藤誠教授(当時)らが提唱した

グリーンストック運動だ。

山内康二さんは理念に共鳴し、

公益財団法人としての立ち上げから参加した。

「具体的な活動について、スタート直後は手探りでした」

新聞に、草原の野焼き作業の人手不足が深刻と報じられ、

都市の人びとのボランティアが組織された。

「当初はケガでもされたらたまらん、と地元は冷やかだったのですが」

ボランティアの熱意は高く、

すっかり定着するのに三年も経たなかった。

草原に人が関わるしくみをつづけること、使命はそこに尽きると、

「緑の生命資産」を守る専務理事は言い切る。

阿蘇グリーンストック 山内康二

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。